

事業所名 児童発達支援 高志野ベース ライト

支援プログラム

作成日

R7 年

1 月

18 日

法人（事業所）理念	高志野ベースは子どもたちが自由に思い切り体を動かすことで、体力・運動能力の向上や感性豊かな心を育むデイサービスを目指します。		
支援方針	日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう適切な支援を行うことを目的とします。		
営業時間	平日	学校終了後 から 18:00 まで	学休日(長期) 8:00 から 18:00 まで
	土	8:00 から 17:00 まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育むお手伝いをします。意思表示が困難である子どもたちの発達の過程、特性を配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう支援をします。食事・排せつ・着替えなど、基本的な生活リズムを身に付け、安全な生活を子ども自身で送れるよう練習を重ねます。	
	運動・感覚	正しい姿勢の保ち方を身につけ、運動機能・筋肉の向上を図ります。遊具遊びの提供、バランスボールやサーキットトレーニング、鬼ごっこ遊びなどを通し筋力や手の感覚を鍛えます。また、感覚過敏・鈍麻のある子にも合わせ、過ごしやすい環境調整を行いながら支援します。	
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い認知機能を発達させます。タイマーの活用による時間に関する認知、粘土や水遊びによる物質の変化と感覚に関する認知、ブロック遊びなど空間把握に関する認知、季節の変化への興味などの感性の形成、適切な行動の形成を育みます。	
	言語コミュニケーション	言葉や様々なコミュニケーションを学び、文字や記号、ジェスチャーや絵カードなどを使い、相手の話を理解して自分の気持ちを言葉にできるよう経験を重ねます。	
	人間関係社会性	集団活動への参加や、余暇の遊び中で信頼関係の築き方を学びます。不適切な行動には注目せず、適切な行動を促す支援をします。人との関りや活動を通して、人間関係・社会性を身につけ、協調性や思いやりを育み、自立に向けた練習を実践的に学びます。	
家族支援	・保護者との共有アプリ（HUG）の活用や送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や参観する場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行っていきます。	移行支援	・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・他関連機関との連携を図り、支援体制を構築していきます。
地域支援・地域連携	・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用していきます。 ・認定こども園、福祉サービス等と連絡を取り連携会議等を行って情報共有していきます。	職員の質の向上	・外部研修や定期的な事業所内研修を行い、各職員の能力や資質の向上を目指していきます。 ・職員間で日々の支援の振り返りや気づきを大切にし、支援の改善と向上を目指し話し合いを重ねていきます。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感・指導内容を考えて、計画的に行います。 ・避難訓練（地震津波、火災 年2回以上）熱中症対策指導、交通安全指導 等 ・クッキングや図書館、児童センター等への外出、地域作品展などへの展示作品製作等行います。 		